

# 2025年の横浜港ビッグニュースを発表します

横浜市港湾局では毎年、その年の横浜港に関連する主要なニュースを「ビッグニュース」として発表しています。このたび、2025年のビッグニュースをまとめましたので、お知らせします。

## 《主なニュース》

※ニュースの詳細な内容と写真は、別添資料をご覧ください。

### ＜国際競争力強化への取組＞

超大型コンテナ船に対応した最新鋭のコンテナターミナルとして再整備を進めているD5ターミナルでは、岸壁の改良やヤードの拡張工事が進み、9月には、一部のエリアで供用を開始しました。また、ベルトコンベア式に土砂を投入できるリクレーマー船を導入するなど、新本牧ふ頭埋立工事が着実に進んでいます。

### ＜カーボンニュートラルポートの形成＞

10月、世界の港湾が競う国際港湾協会（IAPH）主催の「サステナビリティ・アワード2025」で、横浜市が気候変動とエネルギー部門の最優秀賞を受賞。日本の港としては初の快挙で、官民の連携によるカーボンニュートラルの港づくりが世界から高く評価されました。

### ＜観光と賑わいの港＞

横浜船籍の新造船「飛鳥Ⅲ」が、7月に横浜港からデビューしました。また、14隻のクルーズ船が初入港するなど、2025年の横浜港のクルーズ船の寄港予定数は200回を超え、過去最多となる見込みです。また10月には、みなとみらい21地区最大の緑地「臨港パーク」内に、水際線や港の景色を楽しむことができる新施設「横浜ティンバーワーフ」がオープンしました。



◆本牧ふ頭D  
5号コンテナ  
ターミナルの  
一部供用開始



◆「飛鳥Ⅲ」就航



◆みなとみらい  
21地区最大の  
緑地「臨港パ  
ーク」内に  
「横浜ティン  
バーワーフ」  
がオープン



◆日本初！横浜港が「サステナビリティ・  
アワード2025」最優秀賞を獲得

お問合せ先	
港湾局賑わい振興課長 長久 伸子	Tel 045-671-2874



GREEN × EXPO 2027  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

